

授業科目	病因と病態Ⅱ				科目区分	選択必修科目	
担当教員	(世話人) 小田 義直 教授				単位数	1単位	
授業概要	<p>主要な病気、病的状態を理解するために、その原因、発病機構、転機について学習し、臨床病学を正しく把握する為に必要な病理学的知識を習得する。</p> <p>(To master the knowledge of general pathological features in major diseases, you can properly learn about their clinical features including outcomes, pathological conditions and pathogenic mechanisms.)</p>						
全体の教育目標	<p>主要な病気、病的状態を理解するために、その原因、発病機構、転機について学習し、臨床病学を正しく把握する為に必要な病理学的知識を習得する。</p>						
個別の学習目標							
授業計画	回	月日	曜日	時限	授業内容	担当教員	講義室
	1	4/13	月	1	<p>物質代謝異常と退行性病変</p> <p>①細胞の正常構造とその病的変化を説明できる。</p> <p>②蛋白・脂質・糖代謝異常に大別して理解する。</p> <p>③萎縮・変性・壊死・アポトーシスを理解する。</p>	<p>小田 義直 教授 形態機能病理学 TEL : (092) 642-6061 FAX : (092) 642-5968</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー室</p>
	2	4/20	月	1	<p>修復機転・形成異常</p> <p>①創傷治癒の機序と経過を理解する。</p> <p>②創傷治癒・免疫・炎症の関係を理解する。</p> <p>③形成異常の定義と概念及び原因と分類を理解する。</p>	<p>毛利 太郎 助教 形態機能病理学</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー室</p>
	3	4/27	月	1	<p>栄養障害と物理化学障害</p> <p>①栄養素の欠乏・過剰に伴う病変を説明できる。</p> <p>②外傷・熱傷・凍傷などの病変の基本を理解する。</p> <p>③放射線障害の病理を学ぶ。</p>	<p>岩崎 健 准教授 病院病理部</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー室</p>
	4	5/11	月	1	<p>腫瘍総論</p> <p>①腫瘍の基本形態(肉眼像・組織像)を学ぶ。</p> <p>②腫瘍の発生と発育及び宿主との関係を理解する。</p>	<p>山本 猛雄 助教 形態機能病理学</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー室</p>
	5	5/18	月	1	<p>腫瘍の分類</p> <p>①腫瘍の定義と分類について学習する。</p> <p>②上皮性腫瘍の分類と組織像を学習する。</p> <p>③軟部腫瘍の分類と組織像を学習する。</p>	<p>小田 義直 教授 形態機能病理学</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー室</p>
	6	5/25	月	1	<p>外科病理学(1)</p> <p>①人体解剖とその諸臓器の病理組織像を学習する。</p>	<p>清澤 大裕 講師 形態機能病理学</p>	<p>総合研究棟 2階 205 セミナー</p>

				②病理学における生命倫理の重要性を認識する。		室
	7	6/1	月	1 外科病理学(2) ①日常診療における病理医の役割を理解する。 ②細胞診及び免疫染色の組織像を学習する。	橋迫 美貴子 助教 病院病理部	総合研究棟 2階 205 セミナー 室
テキスト	授業によっては参考プリントを配布する。					
参考書						
成績評価の方法	授業中の態度や質疑応答をもって評価する。					
その他						